

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【基礎・基本の力】【コミュニケーション能力】

ブックトークをしよう！ ～ 一人の作家を追って ～

【単元の概要】

本校では、「子ども読書の日」に、保護者ボランティアがブックトークをしてくださっています。そのブックトークは児童に大好評で、「自分もブックトークができるようになりたい。」という憧れを抱いています。そこで、導入時に「作家〇〇さんの本を紹介するブックトークをしよう！」というパフォーマンス課題を設定し、単元全体の見通しをもたせます。児童は、普段からシリーズ物の読書に親しむとともに、自分が選んだ作家について調べたり、シンキングツール（ベン図）を活用して同じ作家の本を比較したりして、共通する作品の特徴（登場人物、人間関係、出来事、作品構造等）やテーマ（主題）に気付き、主体的にブックトークに取り組んでいきます。単元のポートフォリオ評価表を基に、児童は毎時間の振り返りをして、学びをつなげ深めていきます。

◆単元の目標

登場人物の相互関係や作品構造（起承転結）を捉えるとともに、複数の作品を比較し、共通する作品の特徴やテーマを捉え、表現することができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

- ※年間の読書指導計画に、児童がシリーズ物の読書に親しむ期間を設定・実施する。
- 保護者ボランティアのブックトークを想起させ、活動への意欲をもつとともに、パフォーマンス課題に対して自分が紹介したい作家を決め、計画的に読書を進める。

作家（ ）さんの本を紹介するブックトークをしよう！

【情報の収集、整理・分析（6時間）】

- 木村裕一作「風切るつばさ」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。
- 木村裕一作「あらしのよるに」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。

【整理・分析、まとめ・表現（1時間）】

- 2つの作品を比較して読み、作品の特徴や共通するテーマ等に関する自分の考えを書く。グループや全体で考えを交流し合い、深める。

【情報の収集（※常時活動）】

- 自分で同一作者の他の作品を読む。

【整理・分析（3時間）】

- 学習したことを生かして、ブックトークの原稿を完成させる。

【実行（※朝の会）】

- 朝の会でブックトークを行い、発表の後、感想を交流し合う。

【まとめ、振り返り（1時間）】

- 学習を振り返り、感想を書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	おはなしをつくろう
	2	動物のひみつクイズをつくろう 「ビーバーの大工事」
	3	読んで、感そうを伝えよう 「自然のかくし絵」
	4	伝えよう！くらしの中の和と洋 「くらしの中の和と洋」
	5	読んで、考えたことを伝え合おう 「大造じいさんとガン」
算数	2	かさ
	6	文字と式
総合的な学習の時間	6	吉名PRプロジェクト② ～吉名に修学旅行生や観光客を誘致しよう！～